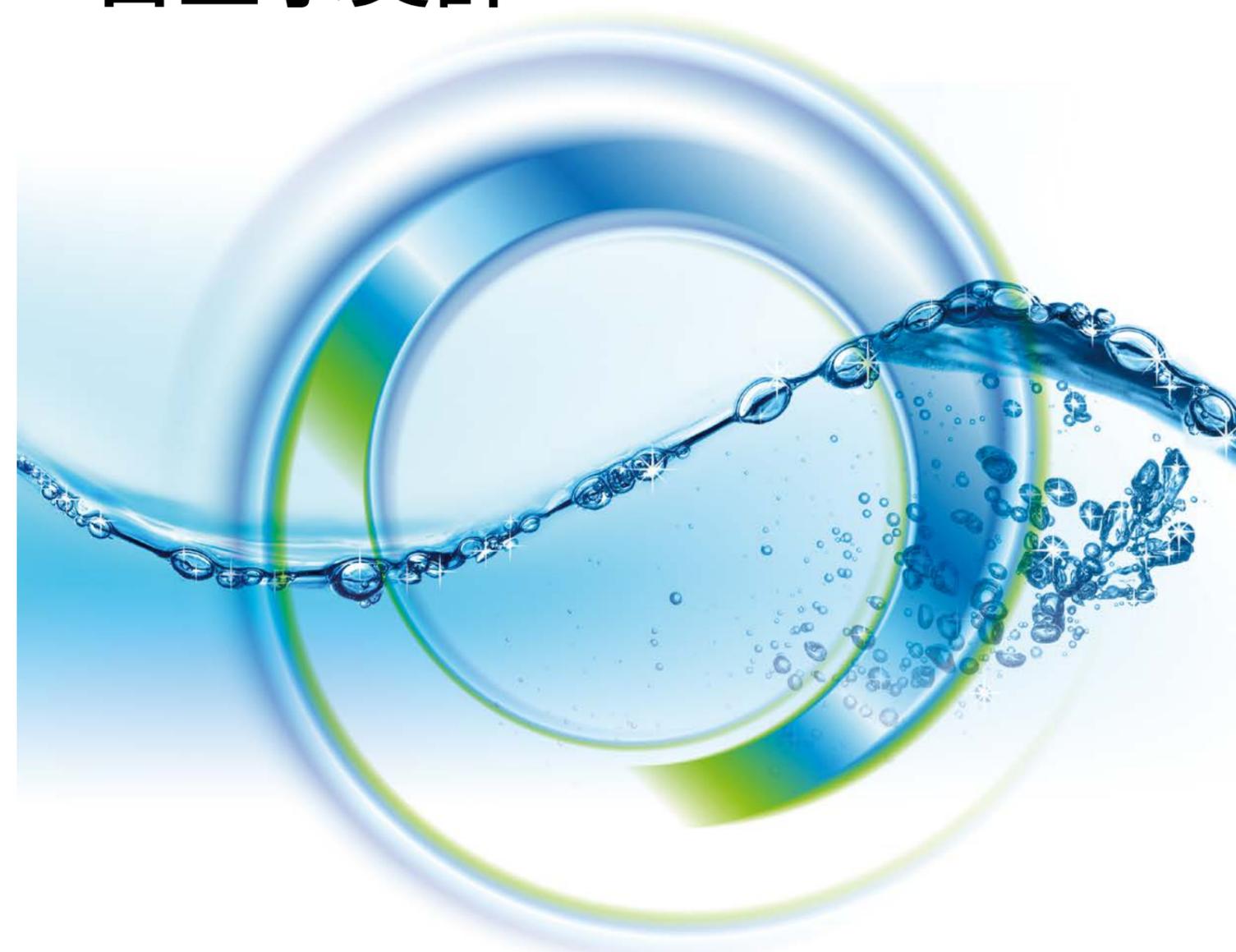
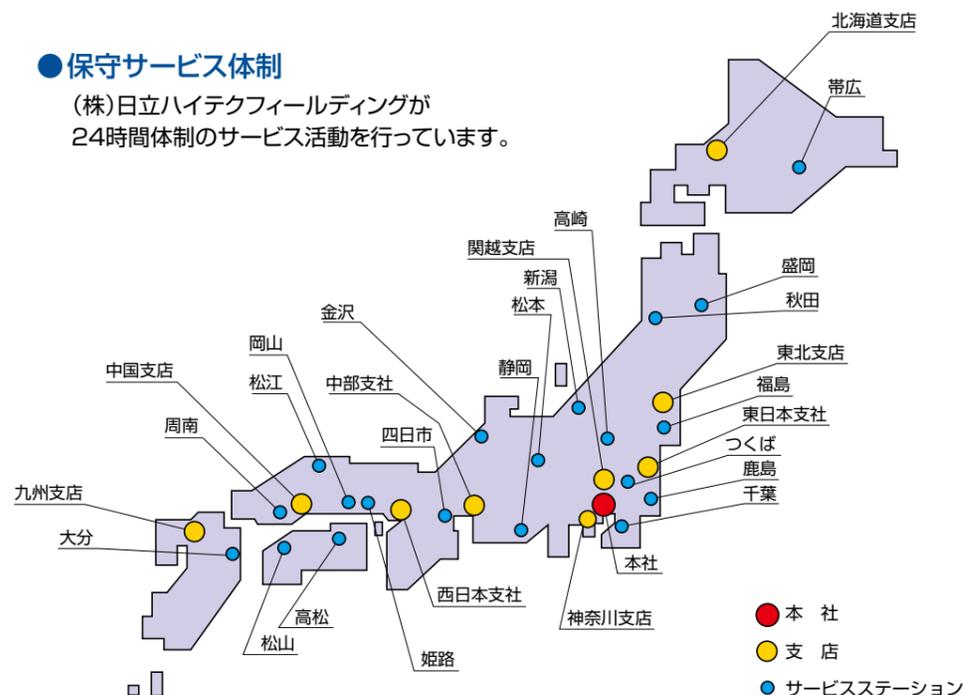


日立水質計



●保守サービス体制

(株)日立ハイテクフィールドイングが
24時間体制のサービス活動を行っています。



◎株式会社 日立ハイテクソリューションズ

本 社 〒105-6412 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー
電話 03-3504-3155(代)

水戸事業所 〒319-0316 茨城県水戸市三湯町500番地
電話 029-257-5100(代)

北海道営業所 080-8860-1335	中部支店 070-4346-3560
東北営業所 080-8119-2247	四日市営業所 080-8734-9605
茨城営業所 080-8734-9602	関西支店 080-8420-6927
鹿島営業所 080-9202-4433	中国営業所 080-8119-2249
千葉営業所 080-8734-9603	九州営業所 080-8119-2251

インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <https://www.hitachi-hightech.com/hsl/>

E-mail hsl-ot.dg@hitachi-hightech.com

- 本カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、「外国為替及び外国貿易法」の規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
- なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

◎株式会社 日立ハイテクフィールドイング

本 社 〒105-6410 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー
フリーダイヤル 0120-203-813(24時間受付)

インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <https://www.hitachi-hightech.com/hfd/>

 **ご注意：**正しく安全にお使いいただくために、
ご使用の際には必ず「取扱説明書」をお読みください。

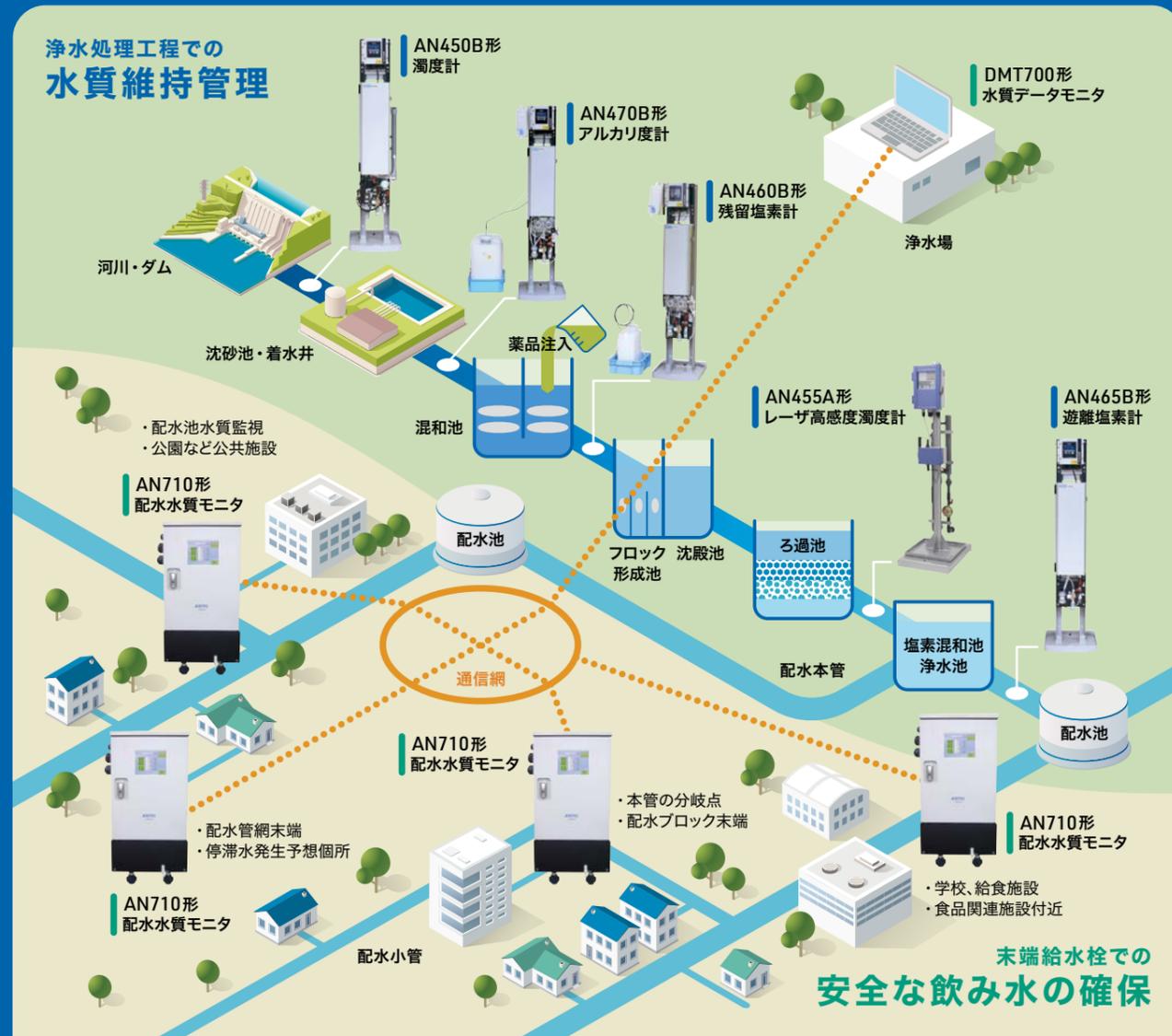
お問い合わせは——



- AN450B形 濁度計
- AN460B形 有試薬式残留塩素計
- AN465B形 無試薬式遊離塩素計
- AN470B形 アルカリ度計
- AN455A形 高感度濁度計
- AN710形 配水水質モニタ
- DMT700形 水質データモニタ

「安全でおいしい水」の維持管理向上に向けて、 日立は浄水プロセスから末端給水栓にいたるまでの 水質分析、監視技術の開発に取り組んでいます。

プロセスに応じた適材適所の水質計により飲料水の安定供給に貢献します。



ANシリーズ水質計の適用箇所

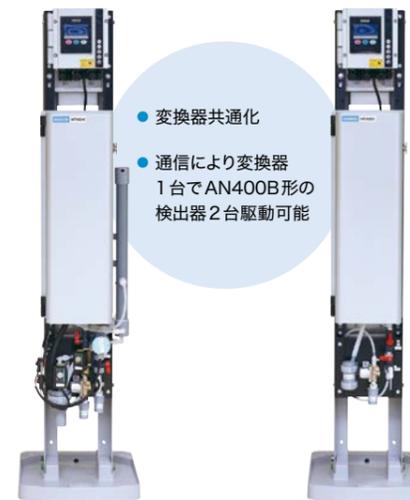
形式	河川 ダム・湖沼	沈砂池 着水井	混和池	フロック形成池 沈殿池	ろ過池	塩素混和池 浄水池	配水池	配水区域 給水栓
AN450B形濁度計								
AN460B形有試薬式残留塩素計								
AN465B形無試薬式遊離塩素計								
AN470B形アルカリ度計								
AN455A形高感度濁度計								
AN710形配水水質モニタ								
DMT700形水質データモニタ								

浄水処理工程での 水質維持に向けての水質計シリーズ

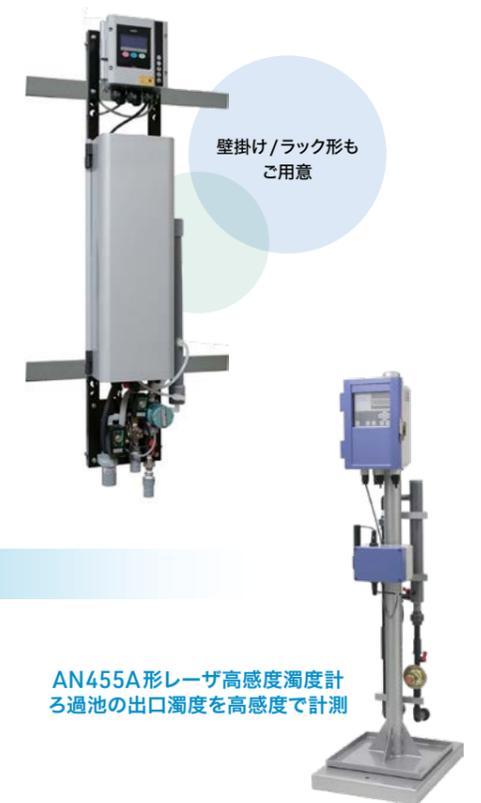
AN400Bシリーズ水質計

- 浄水処理工程で用いられるAN400シリーズを一新。測定原理を踏襲した濁度・遊離/残留塩素・アルカリ度の新シリーズです。
- 変換器を共通化。通信機能により1台の変換器でAN400Bシリーズ2台の検出器を駆動可能。また各機種ごとの操作手順を統一、メンテナンスに一貫性を確保しました。
- 自立架台形(標準)に加え壁掛け・ラック取付形(オプション)も選択可能。水質架台設計の選択肢が広がります。
- 従来機種(AN400Aシリーズ)更新用に互換架台スペーサーをご用意。更新工事の手間を軽減します(オプション)。

AN400Bシリーズの変換器を統一
機能向上と操作・メンテナンスの一貫性を確保



設置方式も2通りをご用意
自立架台に加え壁掛け/ラック形もご用意(オプション)



AN455A形レーザ高感度濁度計

- 濁りの微粒子を高感度で検出。レーザ散乱光方式による粒子カウント方式が、0.0001度の高い分解能を実現。
- 厚生労働省の「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針(健水発第0330005号)」に対応。
- ろ過池出口の濁度0.1度以下の測定管理に最適です。

AN455A形レーザ高感度濁度計
ろ過池の出口濁度を高感度で計測



末端給水栓での 安全な飲み水の確保に向けての水質計シリーズ

AN710形配水水質モニタ DMT700形水質データモニタ

- コンパクトな筐体に遊離塩素・色度・濁度・pH・電気伝導率・水温・水圧のセンサを収納。
- DMT700形水質データモニタと組み合わせ、水質監視システムが構築できます。
- AN710形配水水質モニタの複数配備により水質維持管理の省力化・高効率化、市民サービス向上に貢献します。

AN710形配水水質モニタ
末端給水栓の水質広域監視に最適



AN450B形濁度計



AN450B形濁度計は、浄水処理工程での取水から浄水池にいたる各工程水の濁度測定をはじめ、工業用水・下水・排水の処理工程水、河川・湖沼など環境水の濁度測定・監視など、さまざまな分野で多様な水の濁度を測定する水質分析計です。

AN450B形濁度計は表面散乱光方式で濁度を測定しており、光源や受光部が試料水に接触せず、セル窓などの汚れによる影響が生じません。このため長期安定した測定が可能です。

特長

光源にLED(白色)を採用

検出器は、LED光源と迷光を抑える光学系により、S/N比が高い散乱光検出が可能です。

単レンジ、2レンジ、3レンジを自由に設定

測定範囲は、最小0~2から最大0~2000と広く、手動・自動・遠隔で2レンジ、3レンジが設定できます。

多様な試料水への対応が可能

自動洗浄・校正機能などにより、浄水処理水、工業用水・下水・排水・環境水など多様な試料水への対応が可能です。



AN450B形濁度計

AN465B形無試薬式遊離塩素計



AN465B形無試薬式遊離塩素計は、浄水場内のろ過水や、配水中の遊離塩素を連続測定する水質分析計です。給水栓における遊離塩素は、水道法施行規則により0.1 mg/L以上と定められており、遊離塩素の濃度管理はますます重要になっています。

AN465B形無試薬式遊離塩素計は、セラミックビーズ洗浄と回転数制御された無接点スイングロータリーポーラログラフ電極を用い遊離塩素を測定します。

AN465B形は無試薬を使わない遊離塩素計であり、メンテナンス・維持管理が容易な水質計です。

特長

実績あるポーラログラフ電極による計測

セラミックビーズ洗浄と回転数制御方式により、流量変動などによる指示影響を軽減しました。

単レンジ、2レンジを自由に設定

測定範囲は0~3と広く、手動・遠隔で単レンジ、2レンジが設定できます。

豊富な自己診断メニューを選択可能

7項目の診断項目から6項目を選択し、接点出力できます。



AN465B形無試薬式遊離塩素計

AN460B形有試薬式残留塩素計



AN460B形有試薬式残留塩素計は、塩素処理水の遊離塩素と残留塩素(遊離塩素+結合塩素)を連続測定する水質分析計です。上下水での塩素処理は処理水の安全性確保と適切な水質を得ることを目的としています。

AN460B形有試薬式残留塩素計は、セラミックビーズ洗浄と回転数制御された無接点スイングロータリーポーラログラフ電極を用い、試薬を使い分けることにより残留塩素または遊離塩素を連続測定します。

特長

実績ある無接点ポーラログラフ電極による計測

セラミックビーズ洗浄と回転数制御方式により、流量変動などによる指示影響を軽減しました。

省試薬設計により、試薬タンクを小形化

試薬消費量を従来機種約1/5に低減。試薬タンクは10Lのポリエチレンタンク。約1カ月ごとの試薬補充です。

多様な試料水への対応が可能

浄水場内の多様な試料水に応じて、X-SF3形砂ろ過装置をご用意(オプション)。



AN460B形有試薬式残留塩素計

AN470B形アルカリ度計



AN470B形アルカリ度計は、浄水処理水中のアルカリ度を連続測定する水質分計です。

アルカリ度とは、浄水処理においては凝集沈殿作用や給水管ラインの腐食防止に関連する指標であり、原水・着水井・沈殿池などの凝集剤投入制御、ボイラ給水や工業用水の水質管理などに利用されます。

AN470B形は試薬を用いた電量法による中和滴定を行い、pH電極を用いたクーロメトリー法(電量滴定法)を採用しています。

特長

連続測定・間欠測定を選択可能

電量法による中和滴定を連続的に行うモードと間欠的に行うモードを備えています。水質の変動が激しい時は連続測定し、変動が少ないときは間欠測定での運用が可能です。

省試薬設計により、試薬タンクを小形化

省試薬設計により、試薬タンクを小形化。試薬タンクは10Lのポリエチレンタンクで、約1カ月ごとの試薬補充です。

多様な試料水への対応が可能

浄水場内の多様な試料水に応じて、X-SF3形砂ろ過装置をご用意(オプション)。



AN470B形アルカリ度計

! AN400Bシリーズ ご使用上の留意点

■ AN400Bシリーズ 測定原理の継承

従来シリーズの測定原理継承により、過去帳票データとの一貫性・統一性を保ちました。

- 濁度計：表面散乱光方式
- 無試薬遊離塩素計：ポーラログラフ方式
- 有試薬残留塩素計：ポーラログラフ方式
- アルカリ度計：中和滴定方式

■ AN465B形無試薬式遊離塩素計 / AN460B形有試薬式残留塩素計の選定

無試薬式と有試薬式の使用条件の違いを下表に示します。ご検討の際のご参考としてください。

無試薬式遊離塩素計と有試薬式残留塩素計の使用条件の主な違い

使用条件	無試薬式遊離塩素計 (AN465B形)	有試薬式残留塩素計 (AN460B形)
1. 測定対象	遊離塩素	遊離塩素または残留塩素
2. サンプルpH範囲	pH5.8~8.6(変動幅1 pH以内)	pH5.8~8.6(緩衝能がないこと)
3. サンプルSS範囲	濁度2度以下	数100度以下、必要により砂ろ過装置を設置※2
4. サンプル導電率範囲	8 mS/m以上	特に制限なし
5. 結合塩素の影響	比較的影響が大きい※1	ほとんど影響なし
6. 測定箇所	浄水、配水、給水栓水	着水井~浄水の各プロセス、配水

※1 浄水、配水、給水栓中には、結合塩素はほとんど存在しないので、実用上問題はありません。

※2 砂ろ過装置が必要な試料水の目安は下記をご参照ください。

■ 自動洗浄、砂ろ過装置などの選定

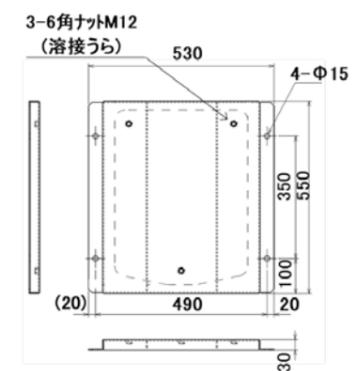
試料水の性状により、自動洗浄・砂ろ過装置（オプション）の追加を推奨いたします。下記をご参照の上、ご検討の際のご参考としてください。

自動洗浄、砂ろ過装置の使用推奨箇所

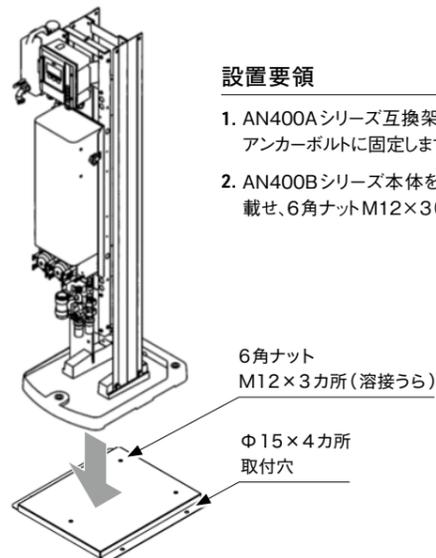
形式	取水・沈砂池・着水井	混和池	フロック形成池	沈殿池	ろ過池	塩素混和池・浄水池	配水池
AN450B	自動洗浄推奨					自動洗浄不要	
AN460B	自動洗浄・砂ろ過推奨					自動洗浄・砂ろ過不要	
AN470B	自動洗浄・砂ろ過推奨					自動洗浄・砂ろ過不要	

■ 従来機種（AN400Aシリーズ）の更新用に互換架台スペーサーをご用意

互換架台スペーサーにより、更新時のアンカーボルト打直しは不要。設置工事が容易になりました（オプション）。



AN400Aシリーズ互換架台スペーサー寸法



設置要領

1. AN400Aシリーズ互換架台スペーサーを、φ15×4取付穴を用いて既設アンカーボルトに固定します。
2. AN400Bシリーズ本体をこのAN400Aシリーズ互換架台スペーサーに載せ、6角ナットM12×3(溶接うら)を用いM12ボルトで固定します。

AN455A形レーザ高感度濁度計



AN455A形レーザ高感度濁度計は、測定原理にレーザ散乱光方式を採用。低濁度領域で粒子カウント方式による高い分解能0.0001度を実現しました。

厚生労働省の「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針（健水発第0330005号）」に対応した濁度計です。

特長

■ 浄水プロセスでの濁度監視用水質計

レーザ散乱光検出方式を用い、低濁度領域の高感度測定が可能。ろ過池の出口、配水で低濁度のスパンが設定可能。測定スパン：0-0.1度～0-2度

■ 優れた直線性・ゼロ点安定性

低濁度域では粒子数をカウントする粒子カウント方式（散乱光パルスの個数をカウント）を採用。粒子が動かなければパルスが発生せず、ゼロ点は高安定。さらに、迷光の影響がなく、低濁度まで直線性が維持されます。

■ 0.1μmの微粒子まで計測

半導体レーザ光源の採用で粒径感度を向上。水中の微粒子を確実にカウントします。

■ オールインワン、容易なメンテナンス

計測に必要な付属機器を本体に一括内蔵。測定セルの洗浄も綿棒を通すだけ。簡単な構造でメンテナンスが容易です。壁掛け用分離形もラインナップしました。

■ 応用範囲の広い高感度濁度計測

山間地の深井戸原水とマイクロフィルタによる飲料水採水など、浄水プロセス以外でも高感度濁度計測の能力を発揮。深井戸原水はもともとが低濁度。しかし、ポンプ起動時の微粒子の動きで一時的に濁度が上昇することがあります。こうした採水ポンプ起動時に次のようなシーケンスでマイクロフィルタの寿命延長を図り、維持管理費用の削減につなげることができます。

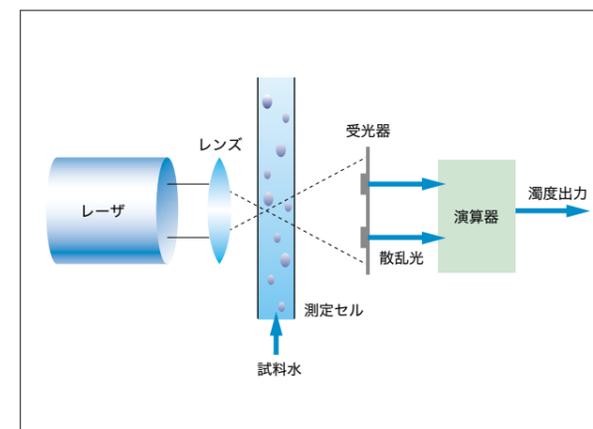
- ポンプ起動時に原水濁度上昇をオンライン検知し、設定濁度以上の原水をパージ。フィルタのつまりを軽減します。
- さらに濁度低下を検出して、製造プロセスへの通水を開始。きれいな水のみをフィルタリング、採水します。

濁度計測をもとに、さまざまな用途への応用が広がります。

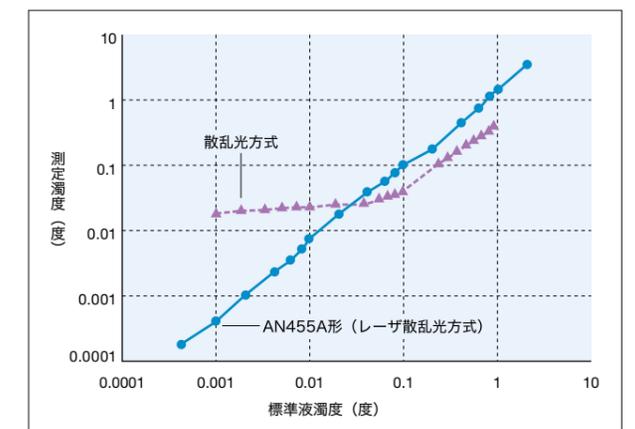
- EMC対策完備
- 防水構造耐湿対策
- セルの洗浄容易
- 流量調整不要
- 気泡溜りなし
- 脱泡槽装備
- 減圧弁付き



AN455A形レーザ高感度濁度計



レーザ散乱光方式の原理図



濁度計のデータ比較

AN710形配水水質モニタ



上水道の配水水質を連続監視するのに適したオンライン水質計です。配水の配管網の中で拠点となる場所の水質を常時観測することにより、広域水質監視の質の向上と効率化を図ることができます。

特長

■ 毎日検査項目を含め最大7項目を測定可能

残留塩素、色度、濁度、pH、電気伝導率、水温、水圧をオンライン測定。通信機能とDMT700形水質データモニタにより、システム構築も容易です。

■ 連続通水による応答性向上と水質異常監視の迅速化

色度・濁度の応答性を向上。配水管路網の異常、工事影響の迅速な把握が可能です。

■ 実績のあるセンサをコンパクトな筐体に集約

7つのセンサは実績のある測定方式。メンテナンス性の向上や交換部品の削減など、維持管理の見直しも行いました。

■ タッチパネルから見たいデータへアクセス

カラータッチパネルで測定項目一括表示、トレンドグラフ表示、警報出力状況・動作状況など、一括表示が可能。メニュー方式だからデータへのアクセスが容易です。



AN710形

DMT700形水質データモニタ



DMT700形水質データモニタにより、複数の水質測定サイトの遠隔監視が行えます。監視用パソコンでは、水質計本体に蓄積された測定データを公衆回線や光回線、パケット通信を介して収集します。

収集したデータは、日報、月報をはじめ、トレンドデータとして表示され、監視用パソコンからは水質計の校正、センサ洗浄、警報設定値変更などが操作できます。

水質広域監視のメリット

■ 水質広域監視による地域・日変動把握

- 毎日検査の自動化と安全性確保
- 水質の動態監視、安定化と塩素量低減

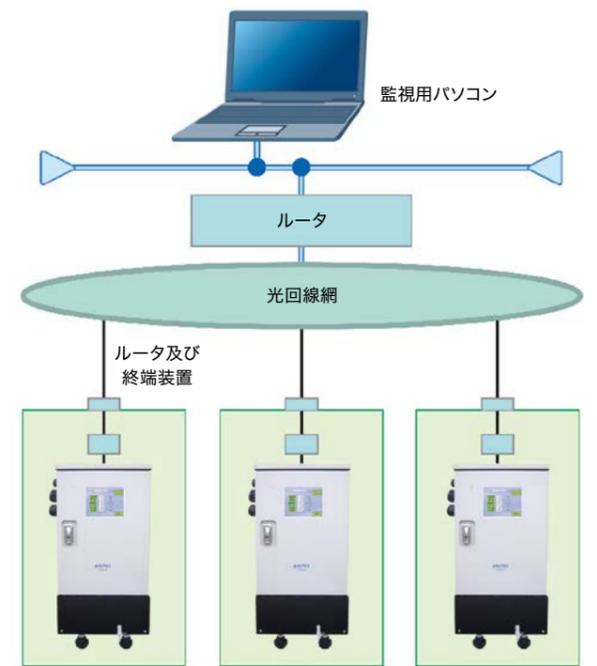
■ オンライン水質情報の把握

- 学校、食品関連からの水質問合せへの不安解消
- 市民サービス向上

■ 管路網状態の把握

- 停滞水把握と水運用最適化
- 水質監視による設備老朽化確認と予防保全

AN710形配水水質モニタの配備により水質維持管理の省力化・高効率化、市民サービスの一層の向上が期待できます。



AN710形配水水質モニタ

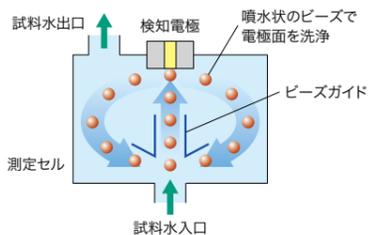
DMT700形水質データモニタシステム構成

測定方式

残留塩素センサ

(水流ビーズ洗浄式ポーラログラフ方式)

水流に乗ったビーズにより電極を洗浄。定流量の水流を維持し安定した洗浄を行います。また、セル内には機械的な可動部がありません。

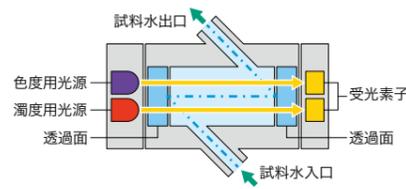


残留塩素センサの水流ビーズ洗浄方法

色度、濁度センサ

(フローセル方式)

色度、濁度センサは一体化した1セル2光路構造、透過光測定方式。定期的な自動ゼロ点校正や自動洗浄、セルフクリーニングからの保守により安定した計測を維持します。



フローセル方式(透過光測定方式)

pH、導電率、水温、水圧センサ

従来から実績のあるセンサを採用。

pH	ガラス電極センサ
導電率	4電極センサ
水温	測温抵抗体
水圧	半導体センサ

いずれも高信頼性と安定性を兼ね備えたセンサです。

主な表示画面例



メインメニュー



トレンドデータグラフ

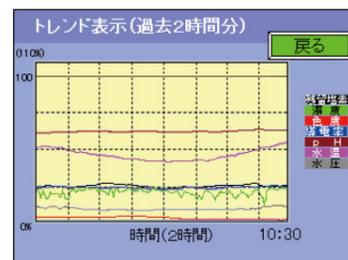


水質現在データ表示画面

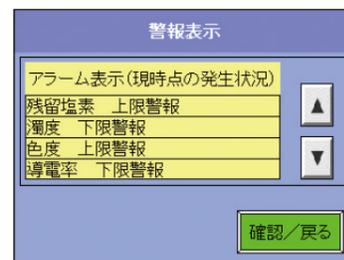
主な表示画面例



測定項目一括表示



トレンドグラフ表示



警報表示

■ メニュー展開、帳票の作成

メインメニューから水質計設定、通信設定設定、管理の各メニューに展開されます。

測定値一括表示、トレンド表示などの測定値表示に加え、測定値の警報レベル設定、洗浄・校正指令が可能です。

データバックアップも含め、日報、月報、年報が作成でき、データ処理の自動化による省力化にも貢献します。

日報

月報

年報

AN400Bシリーズ・AN455A形水質計 主な仕様

形式	AN450B形濁度計	AN460B形有試薬式残留塩素計	AN465B形無試薬式遊離塩素計
測定対象	浄水処理工程水(河川水などを含む)の濁度	塩素処理水中の遊離有効塩素(free)、全残留塩素(total)	浄水処理上水中の遊離有効塩素
測定方式	表面散乱光測定方式	偏心回転微小電極によるポーラログラフ法	偏心回転微小電極によるポーラログラフ法
測定範囲	0~2000 mg/L、ppm、度、FTUのいずれか	0~10 mg/Lまたはppm	0~3 mg/Lまたはppm
出力レンジ	単レンジ	0-2、0-5、0-10、0-20、0-50、0-100、0-200、0-500、0-1000、0-2000	—
	2レンジ	0-2/20、0-5/50、0-10/100、0-20/200、0-50/500、0-100/1000、0-200/2000	0~1/2、0~2/5、0~3/6、0~5/10 0~0.5/1.0(全塩素のみ)
	3レンジ	0-2/5/10、0-5/10/50、0-20/100/500、0-50/200/2000	—
表示	LCD(液晶)デジタル・バックライト付き表示		
試料水条件 (断水または停滯しないこと)	温度	0~40℃(凍結しないこと)	
	圧力	0.02~0.3 MPa	0.05~0.5 MPa(減圧弁付き)
	pH範囲	—	pH5.8~8.6 変動幅1 pH以内
	電気伝導率	—	8 mS/m(80 μS/cm)以上
	SS成分	—	通常濁度2度以下
	検出器流入量	—	20 mL/min
	消費量	1~4 L/minで一定(変動幅1 L/min以内)	1~3 L/minで一定
性能	直線性	±3%FS以内(標準液にて)、±5%FS以内(0-2000レンジ:標準液にて)	±3%FS以内(0~0.5 mg/Lレンジでは±0.03 mg/L以内)、±5%FS以内(校正液にて)
	繰り返し性	±1%FS(散乱板にて)	±2%FS以内または±0.5 mg/L以内(0~0.5 mg/Lレンジでは±0.02 mg/L以内)(いずれか大きい方)
試薬液	試薬名	—	臭化/よう化カリウム、無水酢酸ナトリウム、酢酸
	消費量	—	約0.3 L/日 約10 L/月
	タンク容量	—	10 L(レベルセンサー付き)
	タンク材質	—	ポリエチレン(受皿付き)
電源電圧	AC100~240 V±10%、50/60 Hz		
消費電力	約15 VA、自動洗浄/校正付き60 VA(最大)	約40 VA、自動洗浄/校正付き60 VA(最大)	約15 VA、自動洗浄/校正付き60 VA(最大)
出力信号	アナログ	DC4~20 mA(絶縁形)、2出力、負荷抵抗600 Ω以下	
	デジタル	RS-485 1点	
周囲温度	-5~50℃(凍結対策が必要)		
周囲湿度	85%RH以下(結露しないこと)		
構造	設置	屋内設置形 変換器:IP65、検出部:IP52	
	取付方法	自立架台付、壁掛け・ラック取付形(オプション)	
配線口	φ6~12ケーブル用グランド6個(電線管接続用ねじG1/2)		
質量	自立架台組付け形:30 kg	自立架台組付け形:32 kg	自立架台組付け形:30 kg
外形寸法	380(幅)×1,502(高さ)×500(奥行)(mm)		

形式	AN470B形アルカリ計	AN455A形高感度濁度計	
測定対象	上水道および浄水中の(総)アルカリ度	上水道のろ過水または配水の濁度	
測定方式	電量滴定法(中和滴定):連続/間欠測定選択可	レーザー散乱光測定方式	
測定範囲	0~100 mg/Lまたはppm(炭酸カルシウム濃度として)	0.0000~2.0000度またはNTU	
出力レンジ	単レンジ	—	
	2レンジ	0~50/100	
	3レンジ	—	
表示	LCD(液晶)デジタル・バックライト付き表示		
試料水条件 (断水または停滯しないこと)	温度	0~40℃(凍結しないこと)	
	圧力	0.02~0.3 MPa	
	pH範囲	—	
	電気伝導率	—	
	SS成分	—	
	検出器流入量	約4 mL/min	約50 mL/min
	消費量	1~3 L/min	0.5~1 L/min
性能	直線性	±3%FS以内(校正液にて)	±3%FS以内(校正液にて)
	繰り返し性	±2%FS以内(校正液にて)	±3%FS以内(校正液にて)
試薬液	試薬名	硫酸ナトリウム溶液(約0.18mol/L)	—
	消費量	連続測定で約22 L/月、1時間間欠測定で約16 L/月	—
	タンク容量	30 L(レベルセンサー付き)	—
	タンク材質	ポリエチレン(受皿付き)	—
電源電圧	AC100~240 V±10%、50/60 Hz		
消費電力	約40 VA、自動洗浄/校正付き60 VA(最大)	約15 VA	
出力信号	アナログ	DC4~20 mA(絶縁形)、2出力、負荷抵抗600 Ω以下	
	デジタル	RS-485 1点	RS-485 1点、RS-232C 1点(オプション)
周囲温度	-5~50℃(凍結対策が必要)		
周囲湿度	85%RH以下(結露しないこと)		
構造	設置	屋内設置形 変換器:IP65、検出部:IP52	屋内設置形、屋内防滴Ⅱ形
	取付方法	自立架台付、壁掛け・ラック取付形(オプション)	自立架台付、分離(壁掛け)形(オプション)
配線口	φ6~12ケーブル用グランド6個(電線管接続用ねじG1/2)		
質量	自立架台組付け形:35 kg		
外形寸法	380(幅)×1,502(高さ)×500(奥行)(mm)		

AN710形配水水質モニタ 主な仕様

測定項目	測定方式	レンジ	繰返し性
残留塩素※1	水流ビーズ洗浄式ポーラログラフ方式	0~2 mg/L	スパンの±25%
濁度※1	透過光測定方式(PSL標準液校正※2)	0~2度(0~4度※3)	スパンの±2%
色度※1	透過光測定方式	0~20度(0~10度※3)	スパンの±3%※4
pH	ガラス電極方式	2~12 pH	±0.1 pH
導電率	4電極方式	0~50 mS/m	スパンの±2%
水温	測温抵抗体方式	0~50℃	スパンの±1%
水圧	半導体センサ方式	0~1 MPa	スパンの±0.5%

項目	内容
周囲条件	温度:0~40℃ 湿度:85%RH以下(結露しないこと)
試料水温度	0~40℃(凍結しないこと)
試料水圧力	0.1~0.75 MPa※5
試料水流量	0.1~1.0 L/min(捨水含む)
出力信号	DC4~20 mA(7点)、接点出力(11点)、通信出力
電源	AC100 V±10% 50/60 Hz[消費電力 約20 VA(最大40 VAメンテナンス動作時)]
寸法	幅300×高さ590×奥行212(mm)(ただし、突起部を除く)
質量	約17 kg
メンテナンス周期(主な項目※6)	3カ月:残留塩素スパン、流量点検・調整、ビーズ点検、乾燥剤交換 6カ月:ゼロ水フィルタ点検・交換、ビーズ交換、試料水フィルタ交換、乾燥剤交換(濁度・色度セル) 1年:残留塩素電極・pH電極交換

- ※1 AN710形の基本測定項目です。
- ※2 ポリスチレン系粒子濁度標準液による特性を示します。
- ※3 オプション
- ※4 レンジ0~10度の場合は、スパンの±5%となります。
- ※5 0.1 MPa未満の低試料水圧力の場合は、加圧ポンプをオプションで準備しますのでご相談ください。
- ※6 メンテナンス周期は水質により変わることがあります。

DMT700形水質データモニタ 主な仕様

項目	仕様
通信媒体	公衆回線、光回線、パケット通信
データ収集周期	1分、10分、30分、1時間(瞬時値を蓄積します)
データ蓄積	1分データの10日分をmicroSDカードへ格納(10分データの場合約3.3カ月)
データ収集	アナログ信号:7項目測定値 デジタル信号:水質計測定値警報(上下限警報)、自己診断警報など
イベント通報	各測定値上/下限警報など、水質計複数通報、水質計メンテナンス通報
制御機能	濁度・色度ゼロ校正指令、濁度・色度洗浄指令、上下限設定値変更指令
データ自動監視機能	10分、30分、1時間、6時間、12時間、24時間(選択)周期で蓄積データを自動収集、水質計接続台数:最大16局
トレンド監視機能	時間幅可変:1日~1カ月
帳票出力機能	日報、月報、年報を表示

(注) 監視用パソコンの仕様、データモニタの機能詳細などについては、別途ご相談ください。